



大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく生きる生徒の育成」



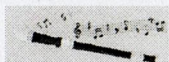
平成30年10月24日
第9号
校長 柴田美由紀



All membersで心を響かせ合った文化発表会!!

豊かな実りの秋、去る10月19日、本校の第72回文化発表会が開催されました。ステージの部も展示の部も、そのできばえは見事でした。オープニングセレモニーでは、今年は全クラス参加の遠近法チャレンジに挑戦し、全校生徒・全職員共同のスローガンづくりと共に、全校生徒出演による手作り感あふれる大原ならではの発想力に富む演出で本年度の文化発表会の幕が開きました。

創作コンクール入賞者発表 ～ 独創的なメロディーライン～

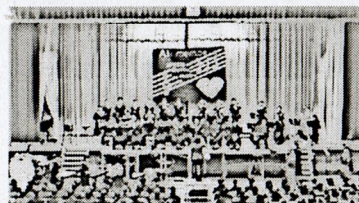


さん、
さん、
さんの発表

では、題名（それぞれ『森のパーティー』『森の音楽隊』『小鳥の朝』）通りの情景が、自然と思い浮かぶようなどとも素敵な曲で、入賞にふさわしい独創性のあるメロディーラインを披露してくれました。

吹奏楽部 ～ 一音一心、日々進化、素晴らしい演奏～

全部で4曲を披露してくれました。吹奏楽部演奏は、迫力のある安定感のある素晴らしい演奏でした。軽快なリズムに合わせての踊りもあり、会場がひとつになって、とても心地よい雰囲気をつくってくれました。日頃の練習の成果でしょう、夏の地区吹奏楽コンクールから一段と磨きがかかり、完成度が上がっていました。



校内主張大会 ～ 仲間の思いを知り、受け止め、思いに応えられる自分をつくる～

校内主張大会では、3人も堂々と自分の思いを表現してくれました。

さんは、身近な友だちの障がいのある人への心もとない発言に心を痛め、言葉を発することの重みを感じ自分自身も振り返ったこと、言葉を言われた相手の立場になって、気持ちを想像して発することの大切さについて主張してくれました。



さんは、自分は入学と同時に大原中に転校してきたが、今の多くの友達に恵まれ、いきいきと活動できていること、そしてそれは入学当時一人で不安でいた自分に、積極的に話しかけてくれた友達のおかげでだったと感謝し、今度は自分が困っている人に積極的に話しかける人になりたいと主張してくれました。



さんは、相手の気持ちを考える、人に寄り添うとは、覚悟をもち、行動を起こす人になることだと、そして自分も性同一性障害をもつ人に寄り添い、社会の偏見をなくしていきたいと力強く訴えてくれました。校内主張大会は、各学年代表の3



名が実に立派に自分の思いを表現してくれました。

いずれも主張者の思い・考えがこじみでするような説得力のある素晴らしい主張でした。そして何より、自分の体験を通して至った強い思いを勇気を持って堂々と訴えてくれたことに大きな感動を覚えました。3名の主張者の皆さん、ありがとうございました。

作品展示 … ～ 多くの力作・苦心作、素晴らしい表現技法に感動～



展示の部は、美術部の巨大画「和」の共同制作をはじめとする数々の作品に、思わず息をのむクオリティの高さを感じました。作品に込められた作者の思い・願い、製作の意図や努力が感じとられて、その人の人柄まで伝わってくるものでした。また、各教科の展示物も日常の授業の成果や夏休みに制作した力作揃いでしたし、苦心作がたくさんありました。普段の教室での授業とは、また違った面、友達の間で持っている素晴らしい創造力や技量、よさを知る絶好の機会ともなりました。

合唱コンクール

『All members～自分を表現し響かせ合うみんなの心～』

3年生は、さすが最上級生という男声と女声の迫力と重厚感のある大人のような合唱を聴かせてくれました。

そして、詩の内容を素敵な声の響きに乗せて豊かに表現してくれました。2年生は中堅学年らしい存在感のある情感あふれる合唱を、1年生も、若々しくはつらつとした素直な歌声を聴かせてくれました。どのクラスも、「曲そのものの持つ力」を精一杯表現しようと心一つに頑張ってきたことが伝わってくる合唱でした。

合唱コンクール結果			
	3年	2年	1年
金賞	3年2組「ヒカリ」 (最優秀賞 合同文化発表会へ)	2年1組「海・風・光」	1年2組「COSMOS」

金賞の学級はおめでとうございます！ 順位はつきませんが、合唱をつくりあげてきたその過程、その道のりが大切なのだと思います。ぶつかりあい、励まし合いという関わりが今、どのクラスにおいても強い絆をつくっているはずで。

今年の合唱コンクールも、どのクラスも魂がこもった、心が洗われるような演奏を披露してくれました。私は、皆さんのおかげで深い感動に包まれた至福の時を過ごすことができました。あの合唱コンクールの皆さんの歌声は、中学時代の友情と団結の証としても、生涯、皆さん一人一人の心の中に響きわたり続けると信じています。

昼休みを返上して取り組んできた合唱部のステージも混声四部の美しい歌声を聴かせてくれました。『ロマンチストの豚』『手紙』共に、熱き思いが伝わる心に響く歌声でした。

今年も友達の主張や合唱、作品を目と耳と心でしっかり受け止め、発表者と聴衆とが一体となつてつながり、感動を呼び起こしてくれました。まさに、今年のスローガン、「All members ～自分の思いを表現し響かせ合う みんなの心」を体現できたのではないのでしょうか。これからも、より質の高い「大原中文化」を受け継ぎ、発展させていきましょう。

